NEWSLETTER

No122519

ナンバーオペレーションは一貫して述べてきたように数学の原理を利用し「価値」を生み出し積み重ねていく事業（ビジネス）です。100%数学の原理に基づいています。その中には速度やフーリエの定理といった物理学が含まれていますがそれらも数学に基礎を置いています。

個々の数値の変化にばかり目を奪われていると本質から離れてしまいます。
“RM”には数学的に対応できますし、”RM”を恐れる必要もまたそれから多くの収益を獲得しようと期待する必要もありません。

効率性を求めて F1/F2 の数値しか見ない方もいらっしゃるかもしれません。しかし、それではナンバーオペレーションになりません。ナンバーオペレーションはスペキュレーションではないのです。

ナンバーオペレーションで最も重要なことは数値構造が価値（収益）を生み出す原理を徹底して理解し数値の個々の変化ではなく数値が組み合わさって作る形と時間に伴う変化を見ていくことです。数値の変化を招く支配的要因は「時間」です。

ナンバーオペレーションに事業（個人事業）として本腰を入れて取り組まれている方が増えています。そして、それに応えるべくこれまで多くのノウハウを提供してきました。

12 月に入ってから紹介し力を入れて解説しているのはトライアングル/ハンドテーブル/バリューチェーンの“融合”です。これは私のグループが開発し実践し実績を上げてきた最大のノウハウと言っても過言ではありません。

ナンバーオペレーションを幾何学的に捉えたモデルです。

マトリックスのテーブル（表）から離れてトライングルの図形をよくご覧ください。
その図形が収益を生み出す形として最初から作られているのが分かるでしょうか。

数値が変化しなくとも時間が収益をもたらす構造が初めから作られていると図形から読み取れるでしょうか。

ナンバーオペレーションが収益をもたらす最大の要因は「時間」にあります。
数値は放っておいても時間と共に変化します。

さらに、小さな三角形を一つ一つご覧ください。
それぞれが収益をもたらすように作られているのです。
RM が発生して三角形の形が崩れても元に戻ります。

次に、トライアングルの下に掲げたサインカーブ（正弦曲線）とコサインカーブ（余弦曲線）の 2 つの図をご覧ください。一つは“ノイズキャンセレーション”です。それでは収益はもう一つの波に打ち消されて出ません。その代わり、損失も打ち消されます。

収益を生み出すのがもう一つのサインカーブ/コサインカーブです。波をちょっとずらすことで収益が生まれます。・・・